

ご意見用紙

玄海原子力発電所に関する県民説明会

※この用紙は、記入後エントランスホールの回収箱にご投入ください。

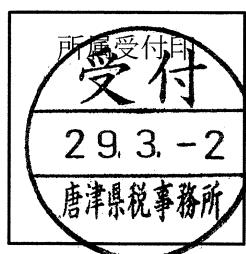
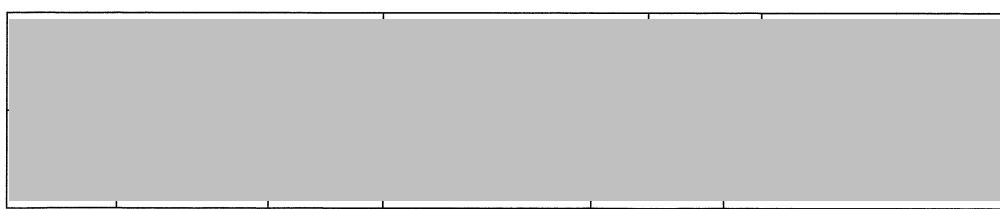
※本日、回収箱への投入が難しい場合は、裏面記載の県内各地に設置しています県政提案箱にご投函いただくことも可能です。

* なお、ご記入の前に裏面のくお願いくをお読みください。

テーマ	<p>★該当する項目をチェックしてください（複数選択可）。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>エネルギー政策に関すること <input type="checkbox"/>原子力安全対策に関すること <input type="checkbox"/>原子力災害対策に関すること <input type="checkbox"/>その他</p>
<p>原発の再稼働に関する説明会の 設定と 運営について、 先日(2月21日)の説明会で発言したこと。</p> <p>平日の夜の開催だけでなく、土曜・日曜の夜とか 午前中とか午後とか、例えば 唐津市で、問題点を 分野ごとに 整理して、最低3回程度、原電規制委員会、内閣府、資源エネルギー庁、九州電力が、それぞれ 独自に 開催することを 基本にして、実行の方法を検討してみてはいかがでしょうか。</p> <p>原発の再稼働の問題は、原発(ここでは、原子力発電)についての 総ての分野・問題に 関わっているけれども、それぞれ 別々の 特徴のある専門分野の仕事をしているのであから、それぞれ20~30分程度の 説明、規制委員会は30分間の 質疑応答、内閣府、資源エネルギー庁、九州電力は、それぞれ20分間の 説明、質疑応答は 合わせて 30分間。 これでは、原発問題の重大性、分野は広く 多種多様に ある(亘る) ということを、ほとんど考慮していない企画であり、運営であったとしか考えられません。 原発問題を 甘く見ているとか、認識不足とか、そのように言われても仕方がないと思われます。 質問としての 発言も、1分間というのは無理でしょう。 具体的な例を挙げたり、複雑な問題であれば少なくて3~4分は 必要でしょう。 質問1分間、回答1分間としても、質疑応答(1)(2)を合わせても 30項目。 当日は 10人から15人の間だたで でしょうか。</p> <p>配布された資料も、会場で指摘されたように、一般人に、わかりやすく 説明しようという 配慮がほとんど感じられません。</p> <p>問題については、見解の異なる専門家に、それぞれ 説明してもらうような工夫が必要ではないでしょうか。 フラセーマル問題では、賛成派・慎重派(実際は反対派)の住民のパネルディスカッション、推進派・慎重派の 学者・専門家の意見発表もありました。「やらせ質問・意見発表」もあったようですが、これは許すことができません。</p> <p>再稼働を急いでいる電力会社に合わせるのではなく、必要なれば十分に時間を使って、発電・廃棄の 分離の問題、電力の自由化と 原発事故の処理費や廃炉費用を 送電費に上乗せすることの是非なども、開運事項として、説明・質疑・討論をすべきだと思います。自治体の事前同意の問題もありました。 * 知事は、意見用紙を全て、直接、読んでください。お願ひします。</p>	

会場名に○をつけてください⇒

唐津・武雄・佐賀・伊万里・鳥栖



0302k0002-1

2-1